

平成 25 年度  
玉 川 大 学  
教育実習(小・中学校)に関するアンケート

< ま と め >

玉川大学教師教育リサーチセンター

## 目 次

1. 協議会の実施とアンケート調査の目的	P. 2
2. アンケートについて	P. 3
3. アンケート（回答結果）	P. 4
4. アンケート（まとめ）	P. 6

## 1. 協議会の実施とアンケート調査の目的

教育実習は教職志望の学生が、在学中に教育の現場において教育活動を実際に経験することですが、その目的は、

- (1) 講義や書物で学んだ教育理論を実際に適用する。
- (2) 教育活動全般について理解を深めて教育の本質を体得する。
- (3) 自己の教職適性を検証する。
- (4) 新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激する。

などです。

玉川大学では、教育実習を円滑かつ効果的に実施するため、特に多くの学生の実習をお引き受けいただきました地区の校長会の代表の先生方をお招きしまして、実習内容や指導方法、実習生に求められる資質能力などについての共通理解を図るとともに、実習生の指導において不十分な点の改善を行っているかなどを検証・検討し、次年度以降に活かす目的で「教育実習指導に関する協議会」を開催しております。

この開催に向け、事前に協議会を開催する地区の教育実習受け入れ校にアンケートをお送りし、各教育実習校よりご意見等を伺っております。ご回答いただいた内容から問題や課題を整理し、その際の資料とするためにアンケート調査へのご協力をお願いした次第です。

## 2. アンケートについて

(1) 調査対象（各地区教育実習校等：市立小学校・中学校）

※各地区とは、横浜市・川崎市・町田市・相模原市である。

回収率：64.7%

校 種	調査依頼校数	回答回収数	未回答数	備 考
小学校	91 *1	65	26	*1 通学 57 通信 34
中学校	30 *2	22	8	*2 通学 30
合 計	121 *3	87	34	*3 通学 87 通信 34

### (2) 調査内容

下記の①～③に関しまして調査を実施させていただきました。

- ① 今年度本学の実習生を引き受けられて感じられた、大学側に指導を充実あるいは改善して欲しい事柄についてお書きください。
- ② 実習生を受け入れるにあたり大学側に対応ならびに改善して欲しい事柄についてお書きください。
- ③ 玉川大学の教育実習指導で、何かお気づきの点がございましたらご自由にお書きください。

### 3. アンケート（回答結果）

本学では、毎年実施している『教育実習に関するアンケート』結果を基に、教職課程委員会で指摘事項を確認し、教育実習事前指導の内容を含め、検討・改善を図っている。そのため、平成25年度実施のアンケートでは概ね指導が行き届いているという評価を頂いているが、本学への要望も挙げられている。平成25年度の大学への要望をまとめたものを次に示す。

#### 【 要 望 】

- 1) しっかりした意識を持たせて欲しい。
- 2) 今後も一貫した指導をお願いしたい。
- 3) **生徒の理解に即した授業展開ができるようにして欲しい。**
- 4) **現場で学ばせてもらっている姿勢を忘れないように指導をお願いしたい。**
- 5) **板書で読みやすく整った文字が書けるような指導の場も設けて欲しい。**
- 6) 研究授業の日程調整時に大学担当教員と連絡を取りやすくして欲しい。
- 7) 感想文の書き方（文章表記）の指導を充実して欲しい。
- 8) **発達障害についての基礎的な知識や対応の仕方など指導を充実して欲しい（知識、理解）。**
- 9) 自ら学ぶ意欲を育む人間形成をお願いしたい。
- 10) **授業における発問の仕方を学ばせて欲しい。**
- 11) 正しい言葉のつかい方、漢字の書き方を学ばせて欲しい。
- 12) 実習日誌の最後のページで、指導教官と校長が書く欄を少なくして欲しい。
- 13) 授業教室内で子どもの人権として配慮する視点を学ばせて欲しい。
- 14) 実習の時期については、今後も9月以降が良い。
- 15) **情報機器についての指導を徹底してほしい（私物 USB メモリーの持ち込み等）。**
- 16) **コミュニケーション力を高める指導をしておいて欲しい。**
- 17) 社会人としての基本的な能力を身につけさせて欲しい（期限を守る、優先順位を考える）。
- 18) 訪問指導時に大学担当教員と話す時間を作って欲しい。
- 19) 教職を目指す強い志をもって実習に臨んで欲しい。
- 20) 強さ、意欲、知識、創造力を総合的に持っている学生を今後とも育成して欲しい。
- 21) 事前に実習生の状況と課題が分かるようにして欲しい。
- 22) **実際の教科書に沿った指導案を書けるような指導をして欲しい。**
- 23) 実習日誌は時間をかけずに書けるよう指導して欲しい。
- 24) **基礎・基本の学習内容について、確実に教えられるように指導して欲しい。**
- 25) 文字（漢字・ひらがな）の書き順を指導して欲しい。
- 26) 毎日きちんとした服装で来校するように指導して欲しい。
- 27) 実習日誌の評価記入欄を改善して欲しい（同じような内容の繰り返しになる）。
- 28) 社会人としての心得・マナー・教員の日・授業の基礎・基本などを指導して欲しい。
- 29) 意欲を向上させる指導をして欲しい。
- 30) 免許を取ることを目的とするような学生は送らないで欲しい。

- 31) **教師としての資質（立ち振る舞い・表情・接し方など）を指導しておいて欲しい。**
- 32) 実習日誌では教員名をイニシャルで記述するのは止めるよう指導して欲しい。
- 33) 自己アピール力と打たれ強さが感じられる人材を育てて欲しい。
- 34) 子ども達が大好きで、熱意のある人材を育てて欲しい。
- 35) 研究授業では大学指導教員からの指導もあると良い。
- 36) 実習時期を小学校側の都合に合わせて融通を利かせてほしい。
- 37) 教師としての向き不向きを見極めてから実習校に送り出して欲しい。
- 38) 実習日誌の担当教諭からの記載欄を無くして欲しい。
- 39) 望ましいと思われる子ども・保護者への対応が適確に出来る人材を育てて欲しい。
- 40) 研究授業の予定日を講師の都合で実習の途中に変更しないで欲しい。
- 41) **インターンシップを単位化して実習後の宿泊体験学習等に参加できるようにして欲しい。**
- 42) 学習支援サポートや宿泊体験学習等に参加しやすいような体制をつくって欲しい。
- 43) 1年間実習校でのボランティアなどでかかわれる仕組みをつくる。
- 44) **教職に向かない学生に対して早期進路変更ができる指導を行って欲しい。**
- 45) **町田市との連携を強めて欲しい。**
- 46) 春（5月）に実習をやるのであれば事前にボランティア等で慣らせて欲しい。
- 47) 事前のボランティア活動をシステム化して欲しい。
- 48) 指導補助員として川崎市の自然教室（2泊3日）に参加させる仕組みを作って欲しい。
- 49) 授業内容に応じた服装を徹底して欲しい（体育など）。
- 50) 実習日誌のあり方を検討して欲しい（電子化、印刷した原稿の綴じ込み可など）。
- 51) 実習日誌における提出期限を検討して欲しい（学期末の成績整理に重ならない配慮）。

#### 4. アンケート（まとめ）

今回のアンケートをまとめた結果、要望が40件となった。

要望をまとめてみると、①指導について（事前指導含む）、②手続き等について、③日誌・評価票について、④学校ボランティアについて、⑤その他 の6つに大別できる。

##### ①指導について（事前指導含む）

- ・ しっかりした意識を持たせて欲しい。
- ・ 今後も一貫した指導をお願いしたい。
- ・ 生徒の理解に即した授業展開ができるようにして欲しい。
- ・ **現場で学ばせてもらっている姿勢を忘れないように指導をお願いしたい。**
- ・ **板書で読みやすく整った文字が書けるような指導の場も設けて欲しい。**
- ・ 感想文の書き方（文章表記）の指導を充実して欲しい。
- ・ **発達障害についての基礎的な知識や対応の仕方など指導を充実して欲しい（知識、理解）。**
- ・ 自ら学ぶ意欲を育む人間形成をお願いしたい。
- ・ **授業における発問の仕方を学ばせて欲しい。**
- ・ 正しい言葉のつかい方、漢字の書き方を学ばせて欲しい。
- ・ 授業教室内で子どもの人権として配慮する視点を学ばせて欲しい。
- ・ **情報機器についての指導を徹底してほしい（私物 USB メモリーの持ち込み等）。**
- ・ **コミュニケーション力を高める指導をしておいて欲しい。**
- ・ 社会人としての基本的な能力を身につけさせて欲しい（期限を守る、優先順位を考える）。
- ・ 教職を目指す強い志をもって実習に臨んで欲しい。
- ・ 強さ、意欲、知識、創造力を総合的に持っている学生を今後とも育成して行って欲しい。
- ・ **実際の教科書に沿った指導案を書けるような指導をして欲しい。**
- ・ 実習日誌は時間をかけずに書けるよう指導して欲しい。
- ・ **基礎・基本の学習内容について、確実に教えられるように指導して欲しい。**
- ・ 文字（漢字・ひらがな）の書き順を指導して欲しい。
- ・ 毎日きちんとした服装で来校するように指導して欲しい。
- ・ 社会人としての心得・マナー・教員の日・授業の基礎・基本などを指導して欲しい。
- ・ 意欲を向上させる指導をして欲しい。
- ・ 免許を取ることを目的とするような学生は送らないで欲しい。
- ・ **教師としての資質（立ち振る舞い・表情・接し方など）を指導しておいて欲しい。**
- ・ 実習日誌では教員名をイニシャルで記述するのは止めるよう指導して欲しい。
- ・ 自己アピール力と打たれ強さが感じられる人材を育てて欲しい。
- ・ 子ども達が大好きで、熱意のある人材を育てて欲しい。
- ・ 教師としての向き不向きを見極めてから実習校に送り出して欲しい。
- ・ 望ましいと思われる子ども・保護者への対応が適確に出来る人材を育てて欲しい。
- ・ 教職に向かない学生に対して早期進路変更ができる指導を行って欲しい。
- ・ 授業内容に応じた服装を徹底して欲しい（体育など）。

## ②手続き等について

- ・ 事前に実習生の状況と課題が分かるようにして欲しい。
- ・ 実習日誌における提出期限を検討して欲しい（学期末の成績整理に重ならない配慮）。

## ③日誌・評価票について

- ・ 実習日誌の最後のページで、指導教官と校長が書く欄を少なくして欲しい。
- ・ 実習日誌の評価記入欄を改善して欲しい（同じような内容の繰り返しになる）。
- ・ 実習日誌の担当教諭からの記載欄を無くして欲しい。
- ・ 実習日誌のあり方を検討して欲しい（電子化、印刷した原稿の綴じ込み可など）。

## ④学校ボランティア・インターンシップについて

- ・ インターンシップを単位化して実習後の宿泊体験学習等に参加できるようにして欲しい。
- ・ 学習支援サポートや宿泊体験学習等に参加しやすいような体制をつくって欲しい。
- ・ 1年間実習校でのボランティアなどでかかわれる仕組みをつくる。
- ・ 春（5月）に実習をやるのであれば事前にボランティア等で慣らせて欲しい。
- ・ 事前のボランティア活動をシステム化して欲しい。
- ・ 指導補助員として川崎市の自然教室（2泊3日）に参加させる仕組みを作って欲しい。

## ⑤その他

- ・ 研究授業の日程調整時に大学担当教員と連絡を取りやすくして欲しい。
- ・ 実習の時期については、今後も9月以降が良い。
- ・ 訪問指導時に大学担当教員と話す時間を作って欲しい。
- ・ 研究授業では大学指導教員からの指導もあると良い。
- ・ 実習時期を小学校側の都合に合わせて融通を利かせてほしい。
- ・ 研究授業の予定日を講師の都合で実習の途中に変更しないで欲しい。
- ・ 町田市との連携を強めて欲しい。

4-1 指導についての要望は、【各教科の指導法を含む科目に起因するもの】、【事前指導に起因するもの】、【個人に起因するもの】に分けることができる。

#### 【各教科の指導法を含む科目に起因するもの】

- ・ 一貫した教育理念を指導する。
- ・ 生徒の理解に即した授業展開ができるように指導する。
- ・ 整った文字で板書ができるように指導する。
- ・ 発問の仕方を指導する。
- ・ 教科書に沿った指導案を書けるように指導する。
- ・ 学習内容について確実に教えられるように指導する。
- ・ 授業の基礎や基本を指導する。
- ・ 教師としての資質を指導する。

#### 【事前指導に起因するもの】

- ・ 一貫した教育理念を指導する。
- ・ 文章の書き方を指導する。
- ・ 発達障害についての基礎的な知識や対応の仕方などを指導する。
- ・ 正しい言葉使いや漢字の書き方（文字の書き順）を指導する。
- ・ 人権について指導する。
- ・ 情報機器（私物 USB メモリーの持込など）について指導する。
- ・ コミュニケーション力を高めるよう指導する。
- ・ 強さ、意欲、知識、想像力を総合的に持たせるように指導する。
- ・ 実習にふさわしい服装で行くように指導する。
- ・ 社会人としての心得・マナーについて指導する。
- ・ 意欲が向上するように指導する。
- ・ 各年次での教員職希望調査を行う。
- ・ 教師としての資質を指導する。
- ・ 教育実習日誌の書き方を指導する（指導教員名をイニシャルで書かない）。
- ・ 子どもや保護者対応が的確にできるように指導する。

#### 【個人に起因するもの】

- ・ しっかりした意識を持つ。
- ・ 学ばせていただいているという謙虚な姿勢を持つ。
- ・ 自ら学ぶ意欲を育む。
- ・ 教職を目指す強い志を持って実習に臨む。
- ・ 社会人としての基本的な能力を身につける。
- ・ 時間をかけずに実習日誌を書けるようにする。
- ・ 教員の仕事（一日の流れ）を理解する。

- ・ 意欲を向上させる。
- ・ 自己アピール力を育む。
- ・ 打たれ強さを育む。
- ・ 子供たちを好きになる。
- ・ 教育に対する情熱や熱意を持つ。
- ・ 教師の向き不向きを自己分析する。
- ・ 子どもや保護者対応が的確にできるようにする。

今後の課題として、各教科の指導法を含む科目および事前指導の内容を確認し、シラバスに反映できるものは反映させていくのが望ましい。また、個人に起因するものの力を教育実習に行くまでにどのように身に付けさせるか、どのように評価するかなどを、教職課程委員会で検討していく必要がある。

- 4-2 手続き等についての要望では、管理職とのコミュニケーションを取りやすくするために、予め実習生の課題やプロフィールを早めに送って欲しいということと、成績処理に掛かる期間では実習日誌の提出日に配慮いただきたいということだが、どちらも事務的に対応できる内容である。
- 4-3 日誌・働票についての要望では、担当教員の記入欄が負担となっているようだ。捺印の件が解決されても、まだまだ改善の余地があるようだ。電子化や印刷原稿の綴じ込みなど、教員の発想も大分変わってきているようだ。
- 4-4 学校ボランティア・インターンシップについての要望では、とにかく教育実習だけでは時間が不足しているということで、1年間を通してボランティアやインターンシップで学校に関わることを望んでいる。単位化してはどうかとの発想も現場教員から出てきている。今後、学校ボランティアやインターンシップに参加することが、教育実習を受け入れる条件として更に明確になってくると思われる。そのようなことになる前に、大学自らが積極的に単位化を進める必要があるのではないか。教職課程受講者のインターンシップ単位化・必修化を早期に検討するのが望ましい。
- 4-5 その要望では、訪問指導に行っている教員の中で、指導しない教員、学校側と情報交換などの話をしない教員、研究授業の予定日を実習途中で変更してしまう教員のことを指摘されており、学校側の意見を伝える必要がある。また、お膝元の町田市为学校から、連携を深めて欲しいとの要望が出ており、今年度手薄になってしまった町田市との連携を、もう一度強めていく必要がある。

以 上

**平成 25 年度  
玉川大学  
教育実習に関するアンケート**

< **幼稚園** >

玉川大学教師教育リサーチセンター

## 目 次

1. 協議会の実施とアンケート調査の目的	P. 2
2. 調査対象・内容	P. 3
3. アンケート調査 報告	P. 4
(1) 教育実習生に対する指導について	
(2) 教育実習に臨む態度について	
(3) 教育実習期間について	
(4) その他	
4. 協議メモ	P. 7

## 1. 協議会の実施とアンケート調査の目的

教育実習は教職志望の学生が、在学中に教育の現場において教育活動を実際に経験することですが、その目的は、

- (1) 講義や書物で学んだ教育理論を実際に適用する。
- (2) 教育活動全般について理解を深めて教育の本質を体得する。
- (3) 自己の教職適性を検証する。
- (4) 新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激する。

などです。

幼稚園教諭志望の学生が上記のような充実した教育実習の経験が出来るよう、課程認定を受けた内容が十分実施されているか、また不十分なところの改善を行っているかなどを検証・検討し、次年度以降に活かす目的で「教育実習指導に関する協議会」を開催しております。

この開催に向け、事前に全ての教育実習受け入れ園にアンケートをお送りし、各教育実習園よりご意見等を伺っております。ご回答いただいた内容から問題や課題を整理し、その際の資料とするためにアンケート調査へのご協力をお願いした次第です。

## 2. 調査対象・調査内容

調査対象（各地区教育実習園）

校 種	調査依頼園数	回答回収数	未回収数
幼稚園	63	50	13

調査内容

- ①大学側に指導を充実、あるいは改善して欲しい事柄についてお書きください
- ②玉川大学の教育実習指導で、何かお気づきの点があれば、ご自由にお書きください。

### 3. アンケート調査 報告

#### (1) 教育実習生に対する指導について

##### 良かった点

1. 大学できめ細やかな指導をされていることを、実習に来られる学生の方々のとても熱心な姿勢から感じ取ることができた。
2. 日誌もよく書いており、事前研修がしっかりされていると思った。今後も玉川大学の学生には期待している。
3. 丁寧に指導されていると感じた。
4. 実習生の人間性もあるかもしれないが、指導がしっかりできていると感じた。
5. 細やかな指導が行き届いていて、受け入れ側でも教えられることが多々あった。こういった指導を受けられる学生は、非常に幸せで、恵まれていると感じた。
6. 実習の記録を拝見し、実習にむけての事前指導が充実していると感じた。

##### 課題点・要望など

1. 音楽教育に対する指導の充実。ピアノの技術は仕事についてから練習をスタートさせるとなると至難の技で、常に四苦八苦の状態になってしまう。大切なことはピアノだけではないが、あまりにも全体のレベルが低下しているように感じている。
2. ”ピアノの授業”を必須にした方が、就職した時に本人が困らないと思う（日頃からピアノに慣れ親しんでおき、ある程度弾けることが求められる）。
3. ピアノを必修にした方が良いのではないか。
4. 指導案の書き方の指導をお願いしたい。
5. 日々の記録においては、論文形式の記入だけでなく、時間の流れの中での教師のかかわり、援助や子どもの姿・内面の読み取りも記入していける形を検討してみてもどうか。
6. 日々の記録について、1日の流れを書く欄が狭いように感じた。
7. 企画して、相談して、立案推敲して実践することの強化、反復による技術向上（実践力とチームワーク）。労作を大切に玉川であれば、より強化してほしい。課題活動の枠をこえて…
8. 現場を想定した授業や実践を取り入れていくとよい。
9. 理論と同じように、実践も授業の中にあると幅が広がるように思う。
10. 子どもの発達、幼児の心理学（子どもの内面の読み取り）。
11. 保育者を志す学生自身が幼少期に遊んだ経験（特に身体を使った遊び）が少ない方が多いのではないかと感じられた。子どもと遊びを発展させられなかったり…という場面が見受けられた。保育の理論を学ぶのと同様に、実践的なことを学ぶ機会を設けても良いのではないと思う。
12. 園児に対して、言葉のかけ方がわからない又は適切な言葉遣いなどに戸惑ったり、わからないからそのままにしてしまう姿が増えてきたように思う。子どもとつながっていくために必要な言葉、受け止めては返せる力が欲しい。
13. 幼稚園教諭は対人関係が前面に出る職種であり、身仕舞が良いことも1つのスキルと考える。その点を踏まえたカラー心理、カラーコーディネートなどがあると良いと思う。
14. 社会人としてのマナー（挨拶・言葉づかい・しぐさ等）や、対職員・保護者・子どもについて指導をしていただきたい。
15. 実習に対する意識について指導を充実して欲しい。
16. 一年生、二年生のときに、子どもたちの遊びや生活の姿のとらえ方を読みとってみる経験

を何回かもって頂けるとよいと感じた。(実際の子どもたちの場面で…) 実習日誌におこす時、反省会での振りかえりの時の子ども理解の芽生えが違うと思う。

## (2) 教育実習に臨む態度について

### 良かった点

1. 実習生の態度・意欲が前向きだった。
2. 一生懸命実習に励んでいた。
3. とても熱心に実習にあたっていた。
4. 短大以来、久しぶりの受け入れだったが、比較的、理解力・行動力に長けている学生でいたことに安心した。
5. 職員への朝と帰りの挨拶が笑顔でしっかりできていて、とても好感が持てた。
6. 礼儀正しく、気持ちよく指導を受けることの出来る学生だった。日頃の指導の賜物だと思う。
7. 日誌の日々の記録は細かく良く記載されていて、とても良かった。
8. 毎回、意欲的な学生が実習に来園されており、受け入れ側も導くことに意気込みを感じている。
9. 何回か教育実習を引き受けたことがあるが、皆さん大変真面目で感性が豊かだと思った。ボランティアとしても来てくださり助かっている。

### 課題点・要望など

1. 実習中、観察に重点をおきがちのため、子どもの中に積極的に入り、子どもの遊びを知る・楽しむことも実習の中で感じて欲しいと思う。授業では体験できない事を実習の中で学んでほしい。
2. 全人格の高揚。
3. 日誌提出期限を守れない人が増えている。
4. 1日実習で取り組む教材を実習前からいくつか考えておくと良い。

## (3) 教育実習期間について

### 良かった点

1. 「3年の秋に2週間実習し、同じ園に4年の春に来る」という形になり、4年次の実習は、園の指導案の書き方やその他のことについても慣れた状態で始められるのは良いことだと思う。
2. 実習園に慣れるため、2年に渡って実習を計画されていることで実習へ安心して参加できてよいと思う。実習生が積極的に実習に参加できるよう、園側も配慮していきたい。
3. 三年生・四年生と2年続けて同じ園にて実習することは、前年の実習が生きて、つながっていく経験になると感じ、よいことだと思う。その分、実習園として、学生の方が成長できるように実習をすすめていく責任をあらためて感じている。

### 課題点・要望など

1. 新たなクラスに入り、たった2週間の間で責任実習まで行なうのは実習生本人にとっても

日程的にも厳しいものがある。

2. 数年前に今の実習期間になった時からお願いしていることだが、四年次の本実習を三週間にできないだろうか。二週間の実習期間では、不完全燃焼になってしまうと思う。以前は四週間だったので、せめて三週間あれば、より実りある実習になると思う。
3. 10日間で2回という実習期間では、「幼児の実態をとらえる→実態に応じた指導について考える→持ち合わせをして計画実習をする→ふりかえり自分なりの課題をもって取り組む」といった実習内容を展開するには短いと思われる。3週間～4週間の期間が必要ではないかと思う。
4. 養成校によっても様々でどれが良いとは言えないが、後半の「2週間」はすぐ終わってしまう感が強い。園行事等が入っていると、その期間の中で最後の実習を十分に経験させてあげることができていたのだろうかと思うことがある。
5. 教育実習の期間が短く、実習が十分でない。3週間は難しいだろうか。園も行事が多くなり、実習を任せる日数が少なく、学んでいるか心配になっている。
6. カリキュラム上難しいと思うが、4週間通しての教育実習期間があると、実習内容も段階的にできる。
7. 他大学の実習生の期間との重なりがあり調整が難しいため、実習の期間を調整できるようにしていただけると助かる。

#### (4) その他

##### 実習生に期待すること、ご意見・ご要望、疑問点 など

1. 普段の生活の中でも、色々なことに興味関心を持って過ごしてもらいたい。それが、日々の学ぶ姿勢や気づき、気配りにもつながってくるため、保育のことだけでなく、幅広い知識（雑学でも）や経験が学生時代に培われると良い。
2. ある活動を通して、子どもの中に何が育っているのか又は何を育てたいのかに気づくことができるとう良い。
3. 身上書の裏面「教育実習において取り組みたい課題・学びたいこと」の欄を設けているのは良いと感じている。実習Ⅰを振り返り、自分で課題をみつけ、気づいて目標設定し次へ進む事で自分と向き合い学びが深まる。実際終わってから読み直してみると学生の成長を感じている。
4. 教育実習生に対する指導の内容をことこまかに知らせてくださり、幼稚園側も心の準備、指導の心構えができて、大変助かっている。
5. 玉川大学の卒業生2名が当園で勤務しているが、日々積極的に保育に取り組んでいただき、感謝している。
6. 学生にとって、就職したい勤務先はどのような園か等、最近の学生の動向を知りたい。
7. 学生の保護者への指導について。玉川大学に限ったことではないが、学生保護者の中に「幼稚園教諭は、時間外労働が多い」「保育園とは違い担任を持つため責任義務が多い」と認識を持った方が、いまだに多くいらっしゃるようである。本人がせっかく幼稚園教諭を目指しているのに、とても残念に思う。保護者向けの周知も必要な時代となっているのだろうか。

#### 4. 協議メモ

玉川大学

# 教員養成フォーラム

期待される教師と今後の教員養成

教師教育リサーチセンター開設二年を記念し、教員養成フォーラムを開催する運びとなりました。「期待される教師と今後の教員養成」をテーマに掲げ、義家弘介文部科学大臣政務官の講演をはじめ、各界で活躍されているシンポジストの方々を迎えシンポジウムを行います。教員養成の現在と今後の課題を捉え、期待される教師と今後の教員養成についてフォーラムを通して皆様と共に考える機会にしたいと思います。

日時

2013年 **10月20日** [日]  
13:00～17:00(受付12:20～)

会場

玉川学園 講堂

参加費無料・事前申込制

## ※ 当日プログラム

13:00～13:15

開会挨拶

小原芳明 [玉川大学学長]

13:15～14:00

講演 I

「教員養成の現在と今後の課題」

義家弘介 [文部科学大臣政務官]

14:00～14:45

講演 II

「初等中等教育を担う  
教員養成に対する期待」

藤原章夫 [文部科学省初等中等教育局 初等中等教育企画課長]

15:00～15:20

ショートレクチャー

「期待される教師力・学校力」

八尾坂 修 [九州大学大学院教授  
玉川大学教師教育リサーチセンター客員教授]

15:20～17:00

シンポジウム

「これからの学校と学び続ける教師」

岡田優子 [横浜市教育長]

藤田弓子 [女優]

田中克義 [川崎市立南菅小学校総括教諭]

森山賢一 [玉川大学教師教育リサーチセンター長  
玉川大学教職大学院教授・教育学部教授]

コーディネーター 八尾坂 修

## お問い合わせ先

玉川大学教師教育リサーチセンター

〒194-8610 町田市玉川学園 6-1-1

TEL:042-739-7097 FAX:042-739-8857

e-mail:t-menkyo@tamagawa.ac.jp

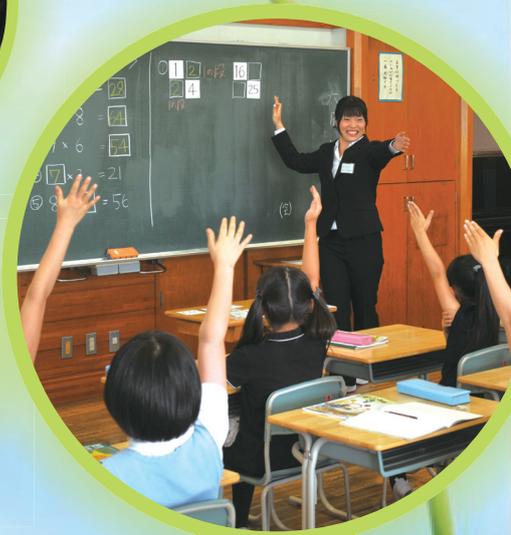
www.tamagawa.jp

## 主催

玉川大学教師教育リサーチセンター

## 後援

神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会・川崎市教育委員会  
相模原市教育委員会・町田市教育委員会・稲城市教育委員会  
協同出版・時事通信出版局



🕒 日時

2013年 **12月7日** [土]  
13:00→16:00 (受付 12:30～)

📍 会場

玉川大学 大学研究室棟  
地下1階

参加費無料・事前申込制

TAMAGAWA UNIVERSITY

# 玉川教育フォーラム 2013

🕒 当日プログラム

13:00→13:10

開会挨拶

**小原芳明** [玉川大学 学長]

13:10→13:20

フォーラム趣旨と玉川大学の取り組み

**森山賢一** [玉川大学教師教育リサーチセンター長  
玉川大学教職大学院教授・教育学部教授]

13:20→14:10

講演

**「品川区の教育改革を  
振り返って」**

- 品川区の教育改革の概要
- 教育改革のねらい
- 教員の資質と学校教育の使命

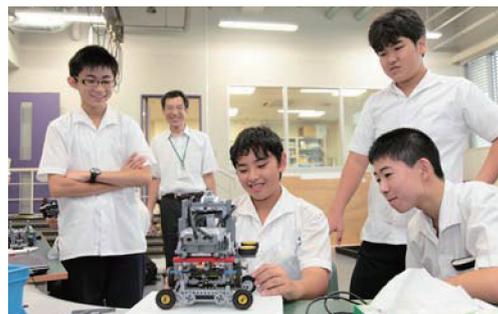
**若月秀夫** [一般財団法人学校教育研究所代表理事  
政策研究大学院大学客員教授  
玉川大学教師教育リサーチセンター客員教授]

主催

玉川大学教師教育リサーチセンター

お問い合わせ先

玉川大学教師教育リサーチセンター  
〒194-8610 町田市玉川学園6-1-1  
TEL:042-739-7097 FAX:042-739-8857  
e-mail:t-menkyo@tamagawa.ac.jp  
www.tamagawa.jp



14:20→16:00

分科会

**「理数教育の充実」**

第1分科会・第2分科会・第3分科会に  
分かれて実施します。





平成 25 年度

教員の資質能力の向上に係る先導的取組支援事業 報告書

平成 26 年 3 月発行

編集・発行 玉川大学 教師教育リサーチセンター

〒194-8610

東京都町田市玉川学園 6-1-1

T E L : 042-739-8219

F A X : 042-739-8857

印 刷 日新印刷株式会社